

INFORMATION

ラサター先生講演会

日時：2018年1月11日(木)14:00～16:30(13:30受付開始)

会場：聖路加国際大学 臨床学術センター 3302 教室(東京都中央区)

テーマ：ナースの臨床判断を支援する——ラサター クリニカルジャッジメントルーブリック

講演：「臨床判断力の育成の支援につながるルーブリックの活用方法」
Dr. Kathie Lasater(Ed.D., R.N., A.N.E.F., F.A.A.N., オレゴン健康科学大学教授)

参加費：無料

申込方法：下記申込フォームより、メールアドレス、名前、所属、連絡先(電話番号)などを入力して送信

申し込みフォーム：<https://goo.gl/forms/NOvijaubu5fwt4xD2>



問い合わせ先：

E-mail: mm-kaken@slcn.ac.jp / hiromioku@slcn.ac.jp

看護経済・政策研究学会 第30回研究会

日時：3月21日(水)13:30～17:00

会場：東京情報大学 看護実習棟(9号館)デモンストレーション室(千葉県市若葉区)

テーマ：病や障害とともに生きる看護職の活用——ケアギバーとしての役割と共生社会への道

プログラム：[第一部]パネリストからの話題提供 加納佳代子(東京情報大学特命副学長(看護学部担当)・日本てんかん協会千葉県支部世話人〈当事者〉)／瀬戸山陽子(東京医科大学医学部看護学科 看護情報学 講師〈当事者〉)／中津真美(東京大学バリアフリー支援室 特任助教)／仲村信一郎(国立職業リハビリテーション

センター 上席障害者職業カウンセラー 臨床心理士)／栗原房江(前 東京大学大学院経済学研究科 REASE (Research on Economy And Social Exclusion: 社会的障害の経済理論・実践研究)／聴覚障害をもつ医療従事者の会〈当事者〉)／[第二部]パネルディスカッション「病や障害とともに生きる看護職の活用について」パネリストと参加者間で討論(手話通訳, パソコン文字通訳)

参加費(資料代として)：非会員2000円, 会員：無料

※参加費は当日会場で徴収

参加申込：下記の申し込みフォームへ、氏名・所属・連絡先(メールアドレス)および希望する合理的配慮(該当者のみ)を入力して送信(合理的配慮の申出および問い合わせには折返し連絡。メールアドレスは必須)

申し込みフォーム：<https://goo.gl/forms/vyJH6ObYX2GYussQ2>

学会ホームページ：<http://jsnep.umin.jp/meeting/index.html#30th>